

令和5年度福岡県学力調査(5年生)の結果について

6月に5年生を対象に行われた、福岡県学力調査（国語・算数）の結果をお知らせします。この結果は学力の全てではなく一部です。しかし、この結果をしっかりと分析し、今後の指導に活かしていきたいと考えています。

国語（福岡県調査）

◇国語について、県平均よりやや上回っています。

◇どの領域でも高い正答率ですが、特に「書くこと」「読むこと」の問題において、県平均より高くなっています。記述式の問題でも県平均より高くなっています。

◇「相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫」について県平均より下回っています。

◇このことから、基礎的な知識及び技能について習熟が図られてきていることが分かります。これは、普段の授業はもちろん、宿題においても基礎的な問題を多く取り扱ってきた成果と言えます。記述問題等の活用力については、この基礎的な力を土台として今後、伸ばしていけるよう取組を行っていきます。

◆今後は、授業においてこれまで通りの基礎的学力を高めていく取組と併せて、自分の考えを持ち、考えを交流し、表現していく活動を多く取り入れたり、書く活動を増やしたりしていくことで活用力を培っていきます。

算数（福岡県調査）

◇算数について、県平均より上回っています。「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」全ての領域においても高い正答率となっています。記述式においては、県平均を上回っているものの、全体での正答率が低く、無回答率も高くなっています。

◇「平行四辺形の性質について理解し、角度を求めることができる。」問題のみ、県平均を下回っています。「平行四辺形の向かい合う角の大きさは同じ」ことを忘れているようです。

◇このことから、国語と同様に基礎的な部分についての習熟が図られてきていることが分かります。これは、普段の授業はもちろん、宿題においても基礎的な問題を多く取り扱ってきた成果と言えます。記述問題等の活用力については、この基礎的な力を土台として今後、伸ばしていけるよう取組を行っていきます。

◆今後は引き続き、基礎学力の定着を図りながら、特に「図形」領域においては、図形を実際に操作したり、描いたりする活動を多く取り入れ、体験したことを知識や技能に結び付けられるようにしていきます。また、記述等の活用力を身に付けるために、授業の中で、自分の考えを説明したり書き表したりする時間を位置付けていきます。